

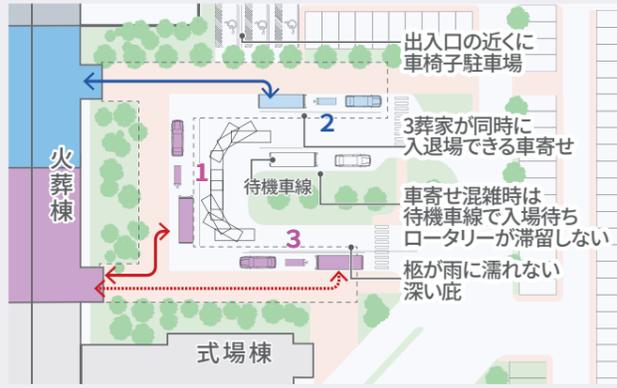
故人の尊厳を守り、会葬者の心情に配慮した、この地に最適な斎場を創造します。

「広域飯能斎場施設整備計画」の5つの基本方針に基づき、組合構成市が求める理想の斎場を実現します。

【基本方針1】火葬需要や葬送の多様化に対応できる施設づくり

◎1日16件を標準とし、1日最大20件程度の火葬を実現

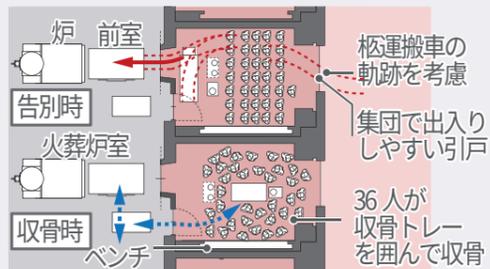
- ・3葬家の車両が停車できる車寄せとし、葬家の早遅着があった場合は待機車線で待機できる計画とします。



3葬家が停車できる車寄せ

◎1炉1室の告別収骨室

- ・1炉1室の告別収骨室とし、火葬者集団の個別化に配慮します。
- ・1炉1室は、火葬スケジュールの変更にも柔軟に対応でき、会葬者が他葬家の火葬を感じないためプライバシーも確保できます。

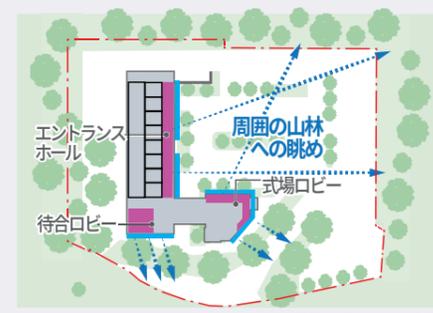


1炉1室の告別収骨室

【基本方針2】落ち着きと安らぎを感じる施設づくり

◎周辺の緑を感じられる斎場

- ・周囲を豊かな山林の緑に囲まれた計画地の環境を最大限に享受できるよう、エントランスホール、待合ロビー、式場ロビーはガラス張りとし、周囲に緑が望める施設とします。



周囲の緑や庭への眺め

◎遺族の心を癒す空間づくり

- ・会葬者それぞれの心情、状況に合わせて様々な待合の場所を用意し、故人との思い出や自分自身と向き合うことができる空間とします。



- ・待合の空間には構成3市のお祭りや名所等の写真パネルを展示し、故人との思い出が語り合う契機となる展示とします。



◎西川材を中心に地域産材を活用

- ・葬家をお迎えする車寄せと式場棟に西川材を構造体として用います。建物全体にも内装材として西川材を積極的に活用し、地域に根ざした親近感と安らぎのある斎場とします。地域の工芸品である竹細工を用いた照明器具等をインテリアに活用します。

◎美しい「四季の庭」のある斎場

- ・斎場の玄関となる車寄せは「四季の庭」に面した落ち着いたアプローチ空間とします。
- ・四季折々の地域に根ざした樹種を選定し、美しく彩られた安らぎのある空間とします。

【基本方針3】人にやさしく、安心して利用できる施設づくり

◎車寄せを中央に配置した明快な配置計画

- ・車寄せを計画地の中央に配置し、新斎場、車寄せ、駐車場、サービスヤードの4つのゾーンと四季の庭を分かり易く配置します。
- ・霊柩車とマイクロバスの車寄せへの動線を一般駐車場と分離し、一般車が霊柩車の進行を妨げない動線とします。



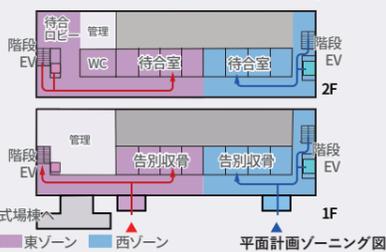
既存樹木 明快な配置計画



配置・動線計画図

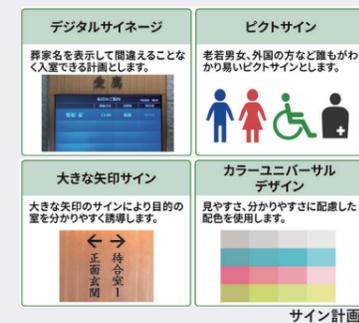
◎会葬者が分かり易いシンプルな平面計画

- ・火葬機能、待合機能、式場機能をわかりやすく明確にゾーニングします。
- ・東西に2ゾーン化し、各ゾーン内にエレベーター、階段を設け、葬家同士の交錯が少なくなるよう配慮した、わかりやすい動線計画とします。



◎バリアフリーに配慮した斎場

- ・道路境界から斎場建設レベルまでのバリアフリー法対応の歩行者用スロープを新設します。
- ・各階に多目的トイレを設けます。
- ・だれも見やすいサイン計画とします。



【基本方針4】環境に配慮した施設づくり

◎周辺の山林の景観に調和する勾配屋根

- ・周囲の山林の景観に調和する勾配屋根を架けた斎場とします。
- ・勾配屋根は、人々にとって馴染みのある親しみやすい形状で、斎場を訪れる際の目印になります。



北東側鳥瞰イメージパース

◎国道299号からの景観に配慮

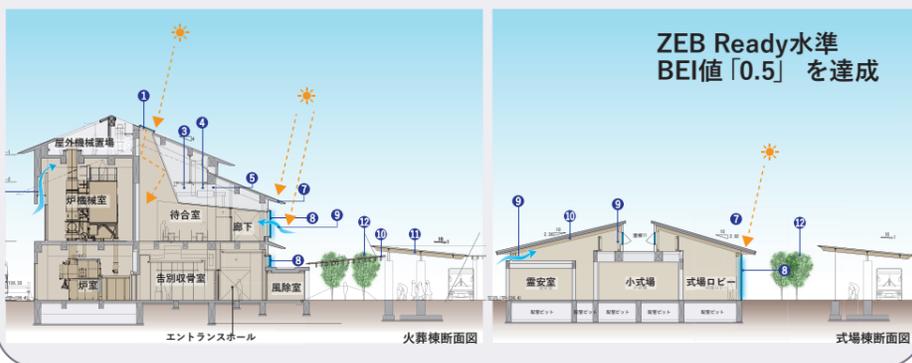
- ・国道299号から建物が見え難く、車寄せの柵が見えない配置とします。
- ・国道側の既存擁壁は、ツル性のカラーリーフや草花で彩りよく修景します。
- ・国道側の既存樹木はできるだけ残します。



南東側外観イメージパース

◎ZEB Ready水準を見出す斎場

- ・建物の外皮性能を上げ、高効率な設備機器を採用することにより、環境負荷を抑え、ZEB Ready水準を達成します。



ZEB Ready水準 BEI値「0.5」を達成

- 1 トップライトによる自然採光
- 2 自然給気による省エネ
- 3 CO<sub>2</sub>濃度による変風量制御
- 4 全熱交換機による省エネ
- 5 高効率機器による省エネ
- 6 省エネ照明制御
- 7 庇による日射遮蔽
- 8 Low-E 複層ガラスによる熱負荷軽減
- 9 自然通風による省エネ
- 10 木材利用による森林の維持
- 11 構成3市で加工可能な木材利用
- 12 周辺緑化による熱負荷軽減

■火葬棟 1階概要

①エントランスホール

- ・集団での移動のし易さを考慮しエントランスホールの幅は3m以上とします。
- ・四季の庭に面した明るく落ち着いた空間とします。
- ・風除室は引き分け自動扉、告別収骨室の扉は引き分け戸とし、集団で移動し易い計画とします。

②告別収骨室

- ・告別収骨室は1炉1室とし、36人をゆったり収容できる広さとします。
- ・ベンチや手摺を設け、高齢者や妊婦などに配慮します。

■式場棟概要

①小式場

- ・小式場は30人を収容できる広さとします。
- ・扉は引き分け戸や引き戸とし、集団で移動し易い計画とします。
- ・小式場には設営用の両開き扉を設け、式場棟搬入口から入って式場ロビーを通らない設営動線とします。

②式場ロビー

- ・構造や仕上に西川材を用いた暖かみのある空間とします。
- ・四季の庭に面した明るく落ち着いた空間とします。
- ・十分な広さとし、会葬者が落ち着いて過ごせる空間とします。

③式場動線のスムーズな流れ

- ・斎場への入場、記帳、受付、通夜、通夜ふるまい、退場への一連の流れがスムーズな一筆書きの動線を計画します。



エントランスホールイメージベース



小式場イメージベース



告別収骨室(収骨時)イメージベース



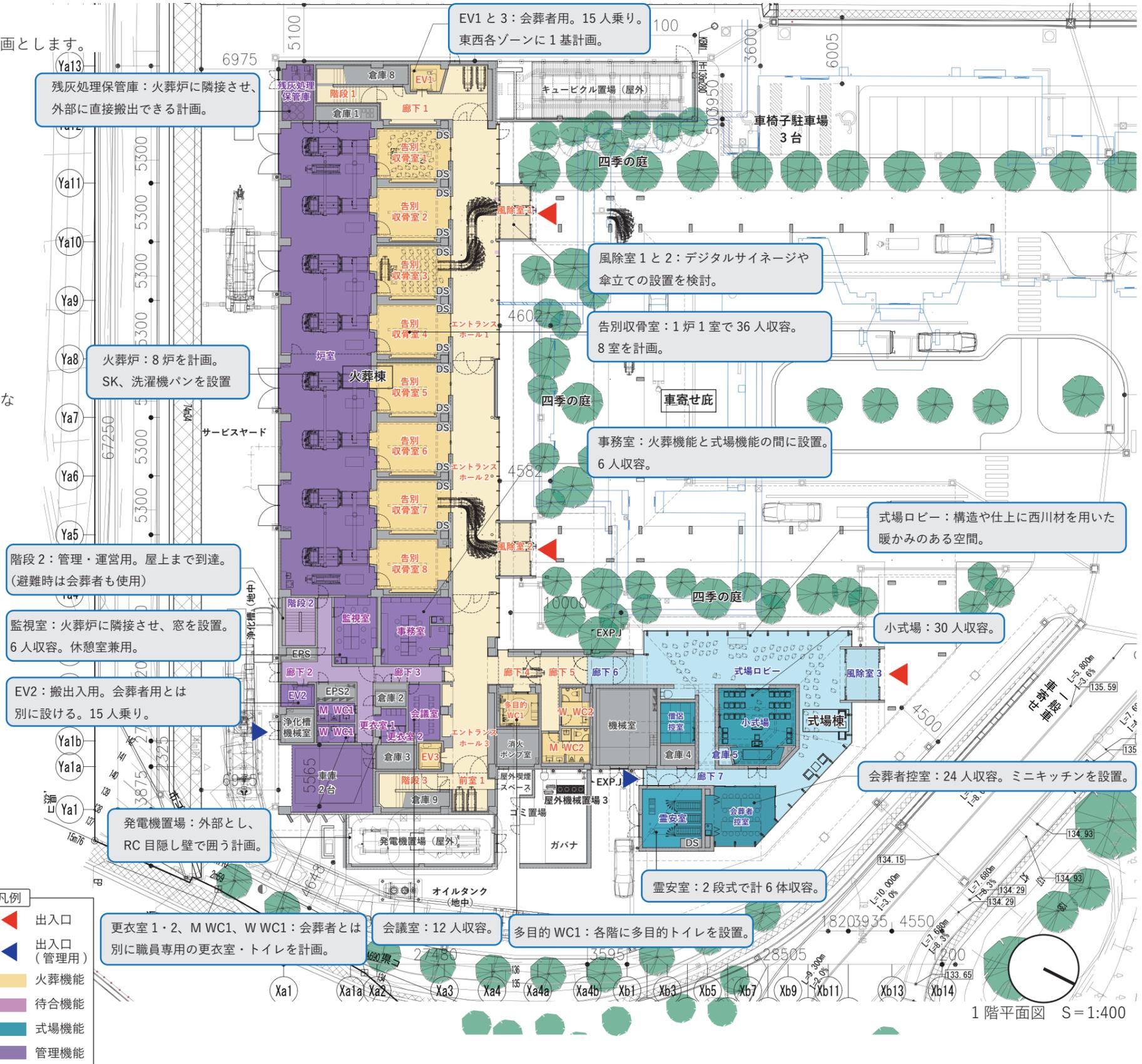
式場ロビーイメージベース



告別収骨室(告别時)イメージベース



会葬者控室イメージベース



- 凡例
- ◀ 出入口
  - ▶ 出入口 (管理用)
  - 火葬機能
  - 待合機能
  - 式場機能
  - 管理機能

1階平面図 S=1:400

■火葬棟 2階概要

①待合室

- ・待合室は24人を収容できる広さとし、
- ・可動間仕切り壁で、2室を繋げるにより、48人収容可能な室を2組設けます。
- ・西川材を用いたインテリアとし、この地らしい温かみのある空間とします。
- ・飾り棚やアートパネルを設けリラックスした雰囲気を演出します
- ・待合室からも周囲の緑を望める設えとします。
- ・トップライトからの光により明るい空間とします。
- ・売店で購入した飲料を保管できる冷蔵庫（備品）とコート掛け（備品）のスペースを設けます。

②待合ホール

- ・待合ホールは待合室で過ごす葬家から離れ、1人や2～3人の少人数で故人を偲ぶ場所として計画します。 集団から距離をとることで、静かに故人を偲ぶことができます。
- ・東側に窓を設け、周囲の山林の緑を望める設えとします。
- ・待合ホールには、3市歴史やお祭り、イベントなど3市に愛着を感じる写真を展示します。 写真を見ながら故人との思い出を語り合う契機となる展示とします。



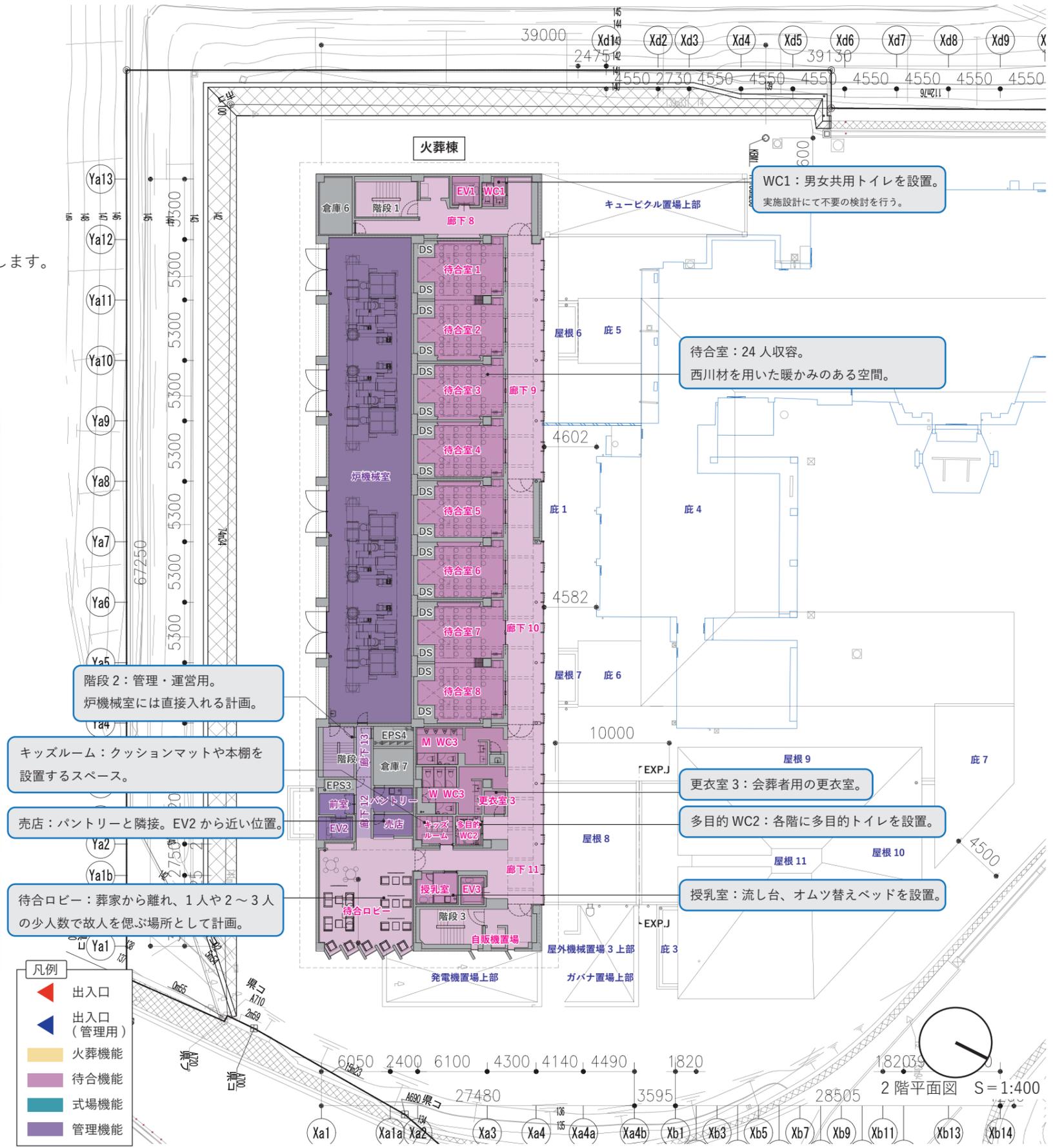
待合ロビーイメージパース



待合室イメージパース



2F廊下イメージパース



階段 2：管理・運営用。  
炉機械室には直接入れる計画。

キッズルーム：クッションマットや本棚を  
設置するスペース。

売店：パントリーと隣接。EV2 から近い位置。

待合ロビー：葬家から離れ、1人や2～3人  
の少人数で故人を偲ぶ場所として計画。

WC1：男女共用トイレを設置。  
実施設計にて不要の検討を行う。

待合室：24人収容。  
西川材を用いた暖かみのある空間。

更衣室 3：会葬者用の更衣室。

多目的 WC2：各階に多目的トイレを設置。

授乳室：流し台、オムツ替えベッドを設置。

- 凡例
- 出入口
  - 出入口 (管理用)
  - 火葬機能
  - 待合機能
  - 式場機能
  - 管理機能

■パース



北側外観イメージパース



北西側鳥瞰イメージパース



車寄せ庇イメージパース